

信州大学医学部附属病院 特殊歯科・口腔外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

平成 29 年 5 月 2 日

「口腔外科処置と下口唇知覚鈍麻に関する後ろ向き観察研究」に関する臨床研究(後ろ向き観察研究)を実施しております。

信州大学医学部医の倫理審査委員会の審査による医学部長の承認を得て、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	3685
課題名	口腔外科処置と下口唇知覚鈍麻に関する後ろ向き観察研究
研究機関	信州大学医学部附属病院(神戸大学、長崎大学など) (研究施設:神戸大学大学院歯科口腔外科学講座)
研究責任者	信州大学医学部附属病院 (特殊歯科・口腔外科、山田慎一)
研究実施期間	倫理審査委員会承認日～2018年3月31日
研究の意義、目的	口腔外科処置において、よく遭遇する合併症の一つに下口唇知覚鈍麻があります。この研究は下口唇知覚鈍麻を生じた患者さんのデータをカルテから収集し、比較や解析を行うことで、知覚鈍麻残存のリスク因子や治療法と下口唇知覚鈍麻残存との関連性を探索することを目的としています。
対象患者様	2010年1月1日より2015年12月31日の期間に当院で口腔外科処置を受け、下口唇の知覚鈍麻を生じた患者さま。
利用検体	ありません。
利用カルテ情報	年齢、性別、治療内容、下口唇の知覚鈍麻発症後の経過など。
その他	特にありません。

診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へお名前や個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、下記のお問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

ご自分の診療記録等の利用をお断りになっても、通常の診療などで不利益を受けることはありません。上記の研究期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

お問い合わせ先: 信州大学医学部附属病院

担当者 特殊歯科・口腔外科 山田慎一 (電話: (0263) 37-2677)